

## 9 バドミントン競技

- 1 期 日 令和5年 6月2日(金) 監督会議 10時30分  
 競技開会式 監督会議終了後  
 学校対抗戦 競技開会式終了後  
 6月3日(土) 学校対抗戦 決勝 9時00分～  
 個人戦複 1回戦～  
 6月4日(日) 個人戦単 1回戦～ 9時00分～  
 閉会式は実施しない

- 2 会 場 鶴岡市小真木原総合体育館  
 〒997-0825 山形県鶴岡市小真木原町2-1  
 TEL0235-25-8131  
 櫛引スポーツセンターアリーナ  
 〒997-0342 山形県鶴岡市三千刈字清和158-1  
 TEL0235-57-4311  
 6月2日(金) 鶴岡市小真木原総合体育館(女子)  
 櫛引スポーツセンター(男子)  
 6月3日(土) 鶴岡市小真木原総合体育館(男女)  
 6月4日(日) 鶴岡市小真木原総合体育館(男女)

- 3 競技種目 男女学校対抗・個人対抗単・個人対抗複  
 4 競技規則 令和5年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程による  
 5 競技方法

- (1) 全ての種目で、下位対戦において15点3ゲームで実施する場合がある。  
 (2) 学校対抗戦は、複・複・単・単・単の順序で行い、3点先取とする。但し、第1単は複に出場できない。  
 (3) すべての種目をトーナメント方式にて実施する。

### 6 使用シャトル

- (1) 水鳥1種検定球4番とする。  
 (2) 試合に使用するシャトルは、対戦校(対戦者)同士持ち寄りを原則とする。

### 7 参加資格

- (1) 基本要項に準ずる。  
 (2) 山形県高体連に加盟し、山形県バドミントン協会に令和5年度登録を完了した者。  
 (3) 個人対抗単・複は、各地区予選会を経た選手とする。

### 8 参加制限

- (1) 学校対抗戦は監督・コーチ・マネージャー各1名、選手5名以上7名以内の、計10名以内のエントリーとする。  
 (2) 個人戦のみに出場する場合は、監督1名と選手のみエントリーとする。  
 (3) 各地区の出場数は以下の通りとする。

		置 賜	村 山	最 北	庄 内	計
男子	学校対抗	フルエントリー				
	個人対抗複	12	21	7	8	48
	個人対抗単	10	18	6	6	40
女子	学校対抗	フルエントリー				
	個人対抗複	11	23	6	8	48
	個人対抗単	9	20	5	6	40

※個人対抗においては、県高校新人大会優勝者の所属地区に、各種目枠1ずつ追加している。

## 9 参加申込及び宿泊申込

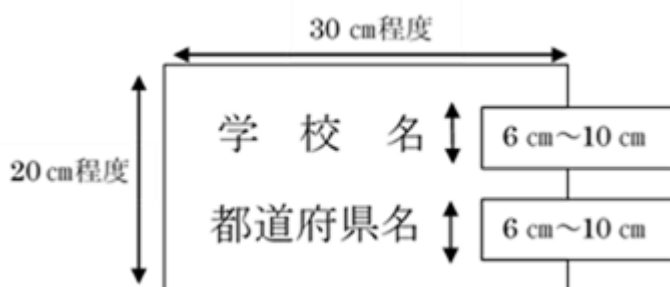
- (1) 基本要項に準ずる
- (2) 宿泊が必要な場合は、各校の責任において適宜対応すること
- (3) 令和3年度より参加申込の様式と手続き方法が変更となっているので、本要項の11-(9)を十分に確認すること
- (4) 専門部への申込様式は、5月17日(水)まで下記へ郵送(校長印付)とメールで申し込むこと。郵送分の到着が遅れる場合は、郵送先に連絡すること。  
※専門部申込郵送先：〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町8-1  
山形県立鶴岡工業高等学校 若木 実 宛  
※専門部申込メール先①：swakakim@pref-yamagata.ed.jp 若木実(鶴岡工業)宛  
※専門部申込メール先②：satoshin@gs.johoku.ed.jp 佐藤新也(県専門部委員長)宛

## 10 表彰及び上位大会出場選考

- (1) 基本要項に準ずる
- (2) 全国高等学校総合体育大会出場数(8/16~21 北海道 札幌市)  
男子 学校対抗1 個人複2 個人単2  
女子 学校対抗1 個人複2 個人単2
- (3) 東北高等学校選手権大会出場数(6/24~26 秋田県秋田市)  
男子 学校対抗2 個人複4 個人単4  
女子 学校対抗2 個人複4 個人単4

## 11 連絡事項

- (1) 学校対抗における監督、コーチ、マネージャーおよび選手に関して、エントリー変更の制限は特に設けない。ただし、変更は認めるが追加は認めないので注意のこと。なお、マネージャーは当該校の生徒および教職員に限るものとする。
- (2) 学校対抗において、同一校における男女の監督はそれぞれ別の者をつけること。
- (3) 個人対抗のエントリーについては、いかなる理由でも変更は認めない。
- (4) 敗者審判制を原則とする。
- (5) 出場選手は、学校名・県名を背面に明記すること。なお、ユニフォームの生地の色と見分けやすい文字色であることとし、文字の大きさに留意すること(ゼッケンを使用する場合、大きさは縦20cm-横30cm程度とする)(文字の大きさは縦6cm以上とする)



- (6) 体育館フローアにおける水分補給は、蓋付きの容器を使用すること。また、氷の使用はインターバル時のみとし、使用後はベンチかコーチングシート等で保管し、コートサイド等には置かないこと。なお、競技エリア内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止する。
- (7) ベンチおよびコーチングシートに入る者は服装等に十分配慮し、マッチ(試合)にふさわしい服装で臨むこと。
- (8) 令和3年度より、本大会においてはコーチおよびマネージャーは参加料不要となった。そのため参加申込は高体連バドミントン専門部に提出する様式と、実行委員会に提出する様式が異なっているため注意すること。

- (9) 9-(4)の申し込みの際は、参加申込の「専門部提出用」「実行委員会提出用」両方に必要データを入力し、ファイルをそのまま送信すること(校長印は必要なし)。学校で集約する申込においては、「実行委員会提出用」のみ提出すること。
- (10) 本大会の組合せ会議は、県高体連バドミントン専門部理事会において、県バドミントン協会競技担当立会いの下、5月中旬に実施する予定。
- (11) 新型コロナウイルスに関わる感染症予防対策として、有無観客開催の別については、県及び県高体連の指示による判断とします。現時点では未定なので後日周知します。また、大会の進行や「競技上の注意」に関わって例年とは異なる対応を行う場合があります。その際の詳細については5月中旬に、参加校に対しての通知を各地区理事に送付します。理事は出場校に必ず周知し、各校で出場選手に対し指導を徹底するとともに、定められた注意事項については遵守すること。